

フリーエネルギー思想の今！

2026/02/15

ユビキタス発電研究会

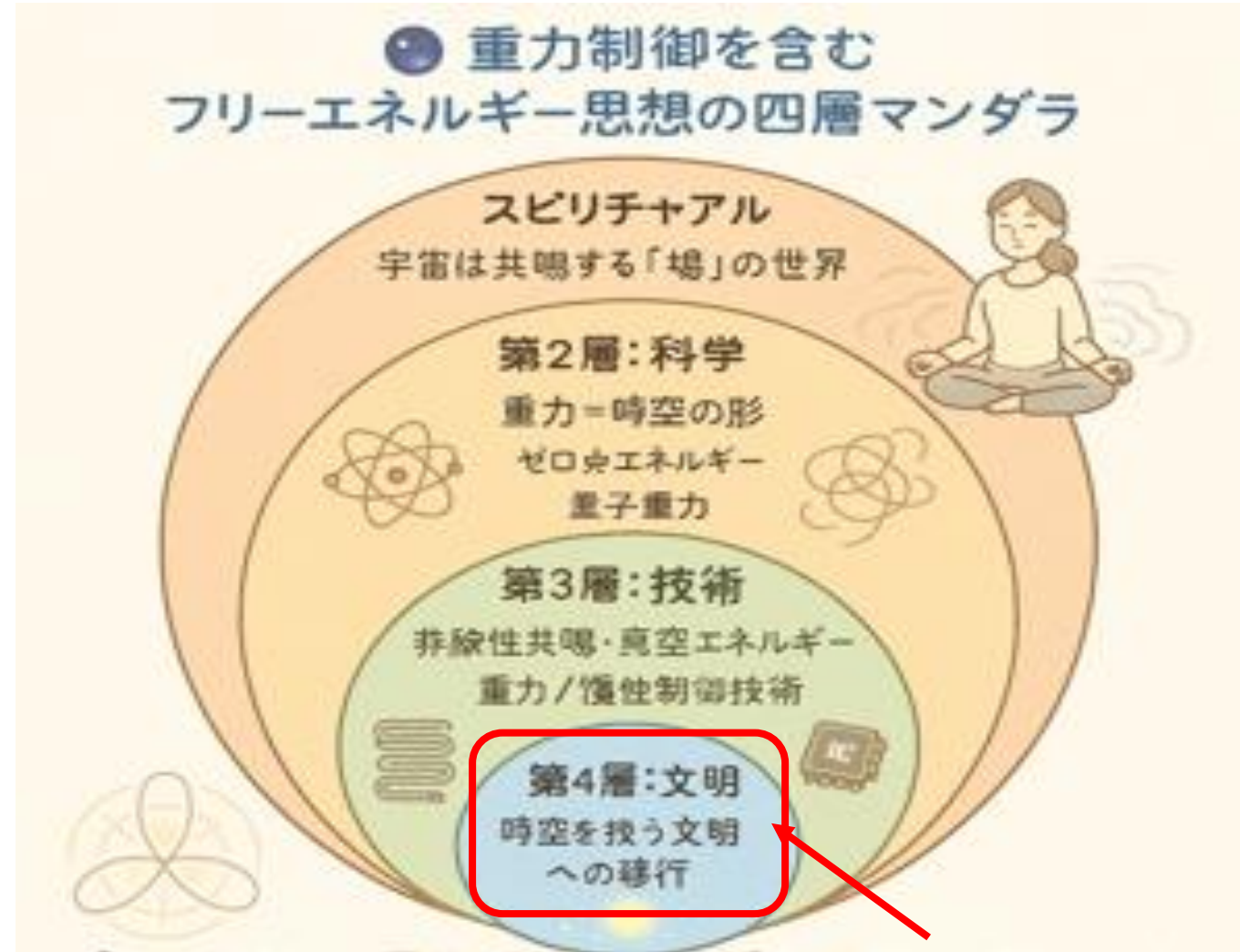
代表 浦野 良一

フリーエネルギー思想 (宇宙にはエネルギーが満ちている！)



-A-

図1



-B-

夢の始まり！→スペースアトミックエイジが後押し！！

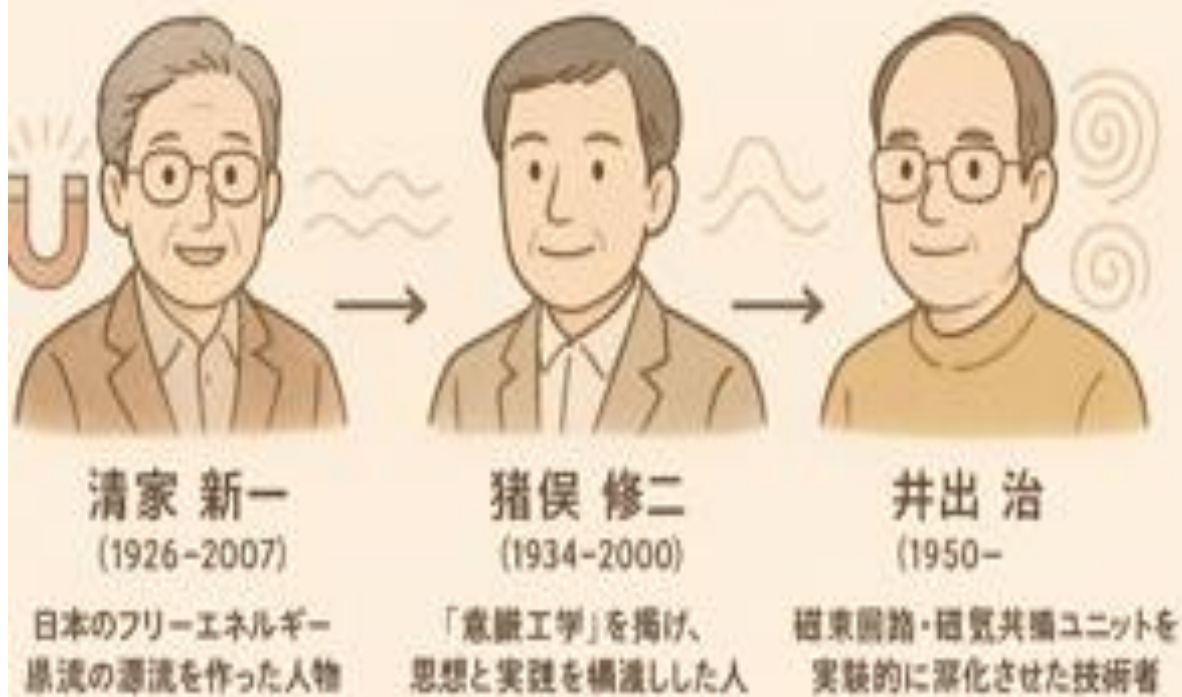
フリーエネルギー思想の広がりは1953年アメリカ大統領アイゼンハワーの”原子力の平和利用演説“から”夢のエネルギー神話物語“が始まった。

[テレビ、映画、
アニメでの原子力利用
の夢の例]

- 1.鉄腕アトム
- 2.バットマンの原子力カー
- 3.サンダーバード
- 4.2001年宇宙の旅での
原子力宇宙船
ディスカバリー号等



日本のフリーエネルギー思想の系譜



アメリカフリーエネルギー思想の系譜



-A-

図3

-B-

日本での重力研究の流れ



- **清家新一** ↔ エーテル・真空实在論系
 - 思想・構想の源流
 - 重力・エーテル・宇宙観を大胆に再解釈
 - 実験よりも「問い」を残した存在
- **早坂秀雄** ↔ 回転×重力実験系
 - 実験として重力に挑んだ研究者
 - 回転体による質量変化実験
- **南義之** ↔ 装置主導・民間系研究
 - 装置主導型の工学的アプローチ
 - 電磁系装置に着目
 - 科学的検証との距離が課題として残る

図4



図5

- **1. T. Townsend Brown (トーマス・タウンゼント・ブラウン)**
 - **Biefeld–Brown効果**・高電圧・誘電体・質量変化
- **2. John W. Hutchison (ジョン・ハッチソン)**
 - 「ハッチソン効果」・物体の浮遊・金属の異常変形
 - 慣性・重力の異常挙動
- **3. Eric Laithwaite (エリック・レイスウェイト)**
 - ※英国人だが、アメリカ重力論争で必ず出てくる
 - ジャイロ스코ープの慣性異常
- **4. Ning Li (寧立 / ニン・リー)**
 - 理論寄り・最重要人物
 - 超伝導体による**重力遮蔽・重力誘導**
 - 「回転超伝導体で重力場が変調される」
- **5. Hal Puthoff (ハル・パソフ)**
 - **重力×ゼロ点エネルギー**
 - 真空エネルギー (ZPE)
 - 重力 = 量子真空相互作用説

[※最重要] フリーエネルギーからリチウム・イオン電池への
“段階的发展開発”への流れ(根本原理主義から実利主義へ)

根本的原理主義(Fundamentalism)



-A-

実利主義(Pragmatism)

→ **イーロン・マスク**の思想改革



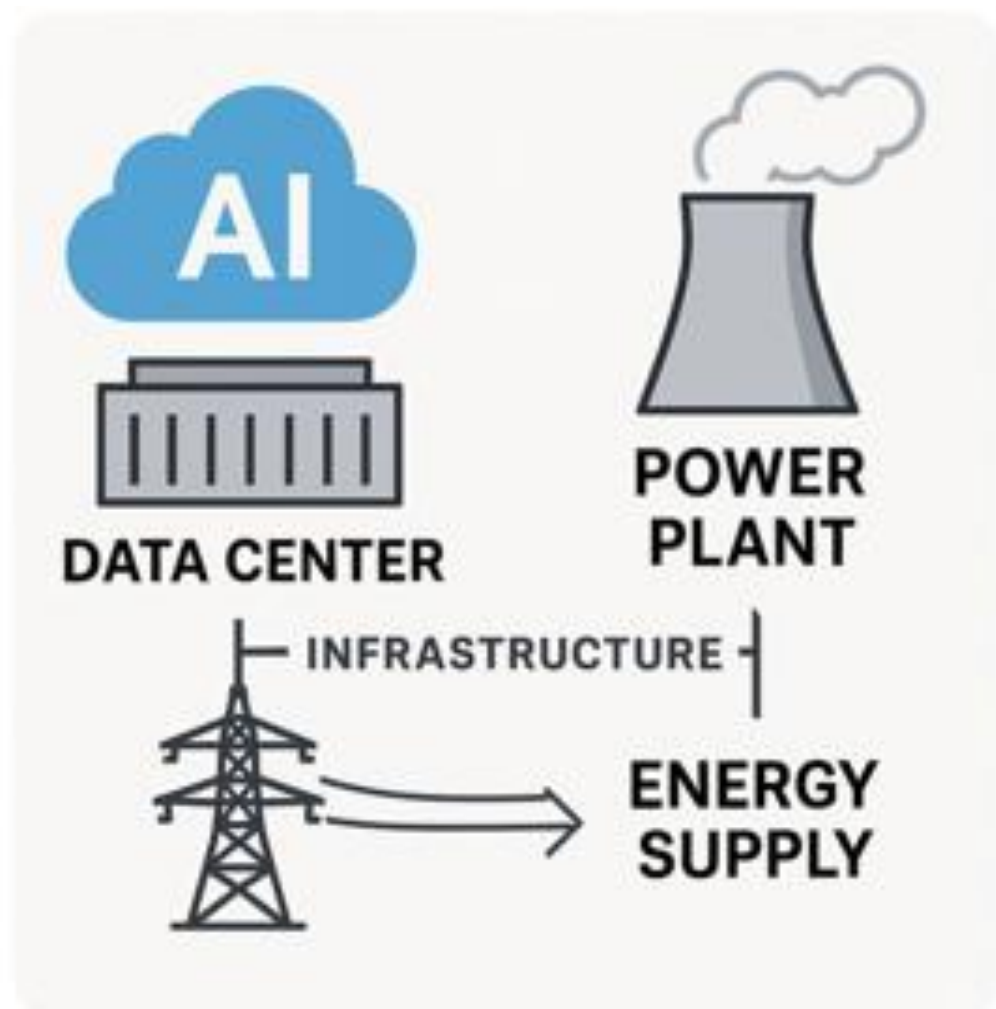
“リチウム
・イオン電池”

-B-

※価値観の変換

- 「宇宙の根源エネルギー」
- より→
- 「スマホを1週間動かす小さな電源」
- の方が文明にとって価値が高い。

AI データーセンターの 巨大化(情報処理の中央発電所)→電力両極化



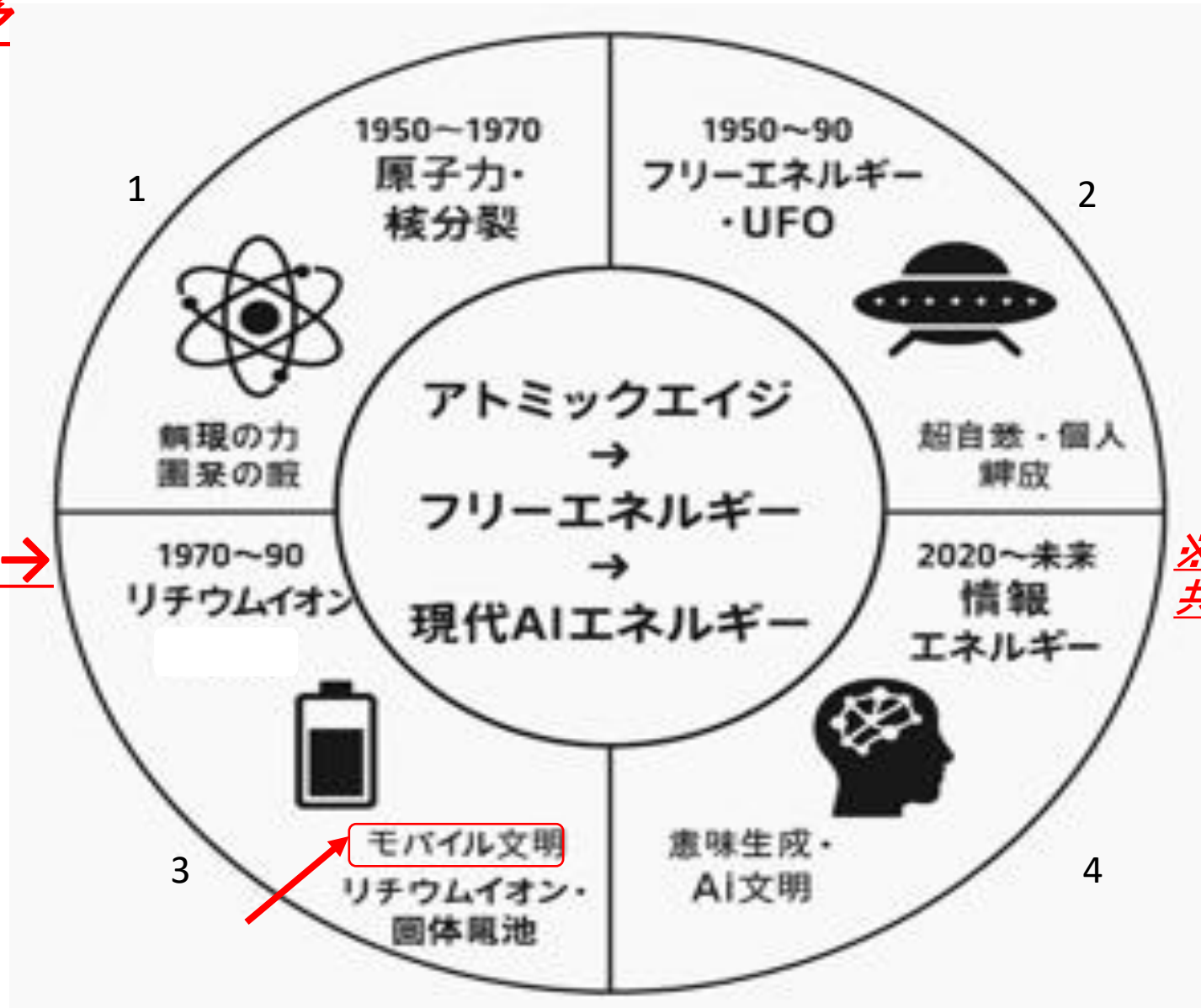
-A-

図7



-B-

アトミックエイジ→フリーエネルギー→現代AIエネルギー 思想の変移



重要な変化！→

※小電力だが意味を生み出す
共鳴エネルギー

フリーエネルギー・環境発電とは何か？

- **[フリーエネルギー]**

- 従来の制約を超え、ほぼ無限に持続的に取り出せるエネルギー（ZEROポイントエネルギー、常温核融合、磁気モーター等）

- **[環境発電(EH:エナジー・ハーベスティング)]**

- 太陽、光、温度差、振動、電波等、周囲環境に自然に存在する **微弱エネルギーを利用**する。

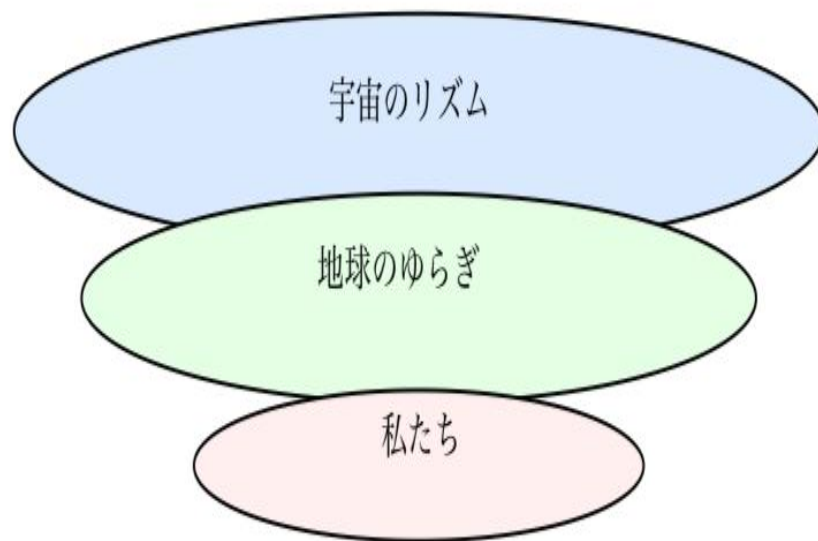
フリーエネルギー思想の レイヤー 構造



フリーエネルギー思想
における“環境発電”
の位置

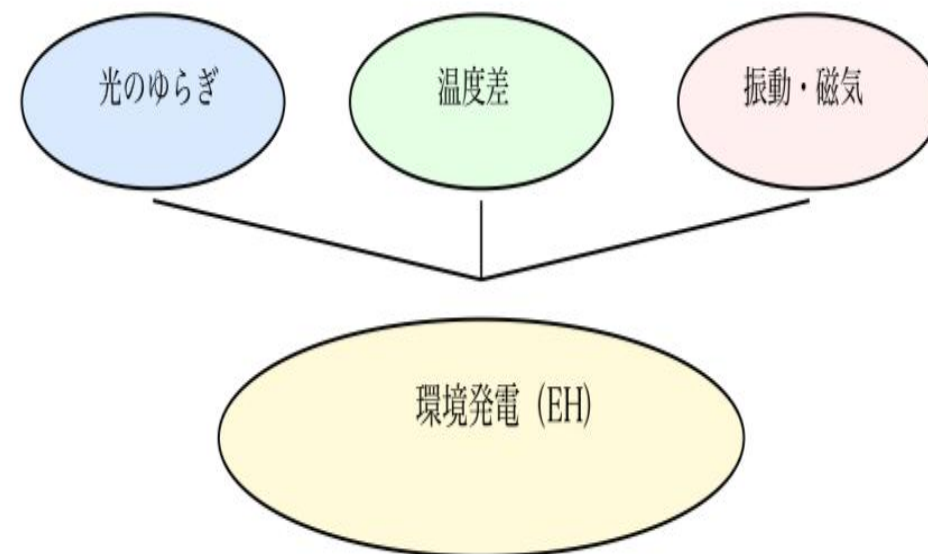
[宇宙との共鳴による環境発電]

[環境エネルギー] = 自然の“かすかな声”を聴くテクノロジー



[宇宙のリズム→地球の揺らぎ→私たち]

-A-

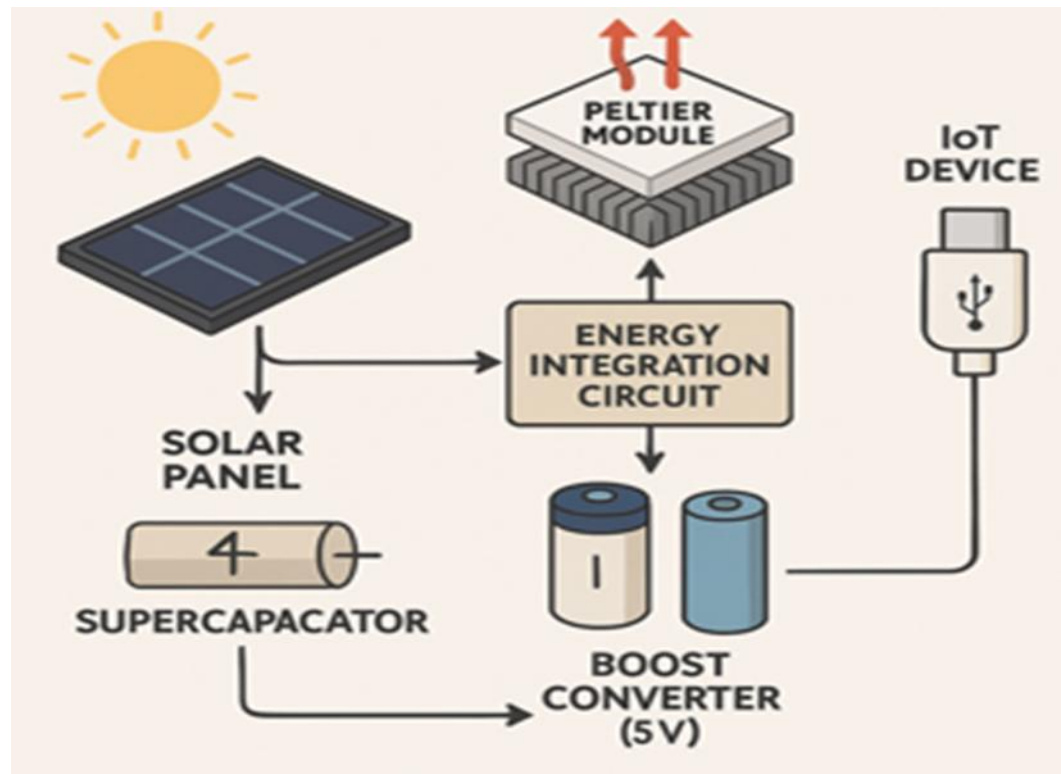


[微細なエネルギー→優しいエネルギー]

-B-

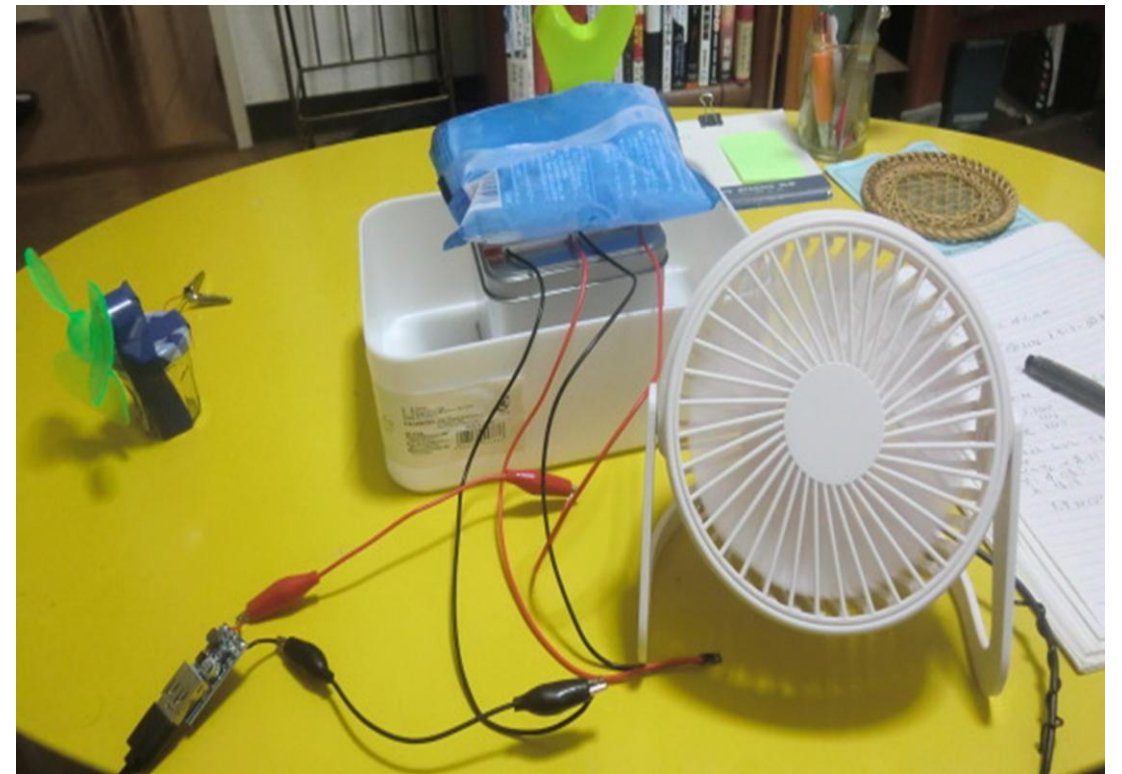
環境発電機一例 1

ソーラー・温度差ハイブリッド発電機



-A-

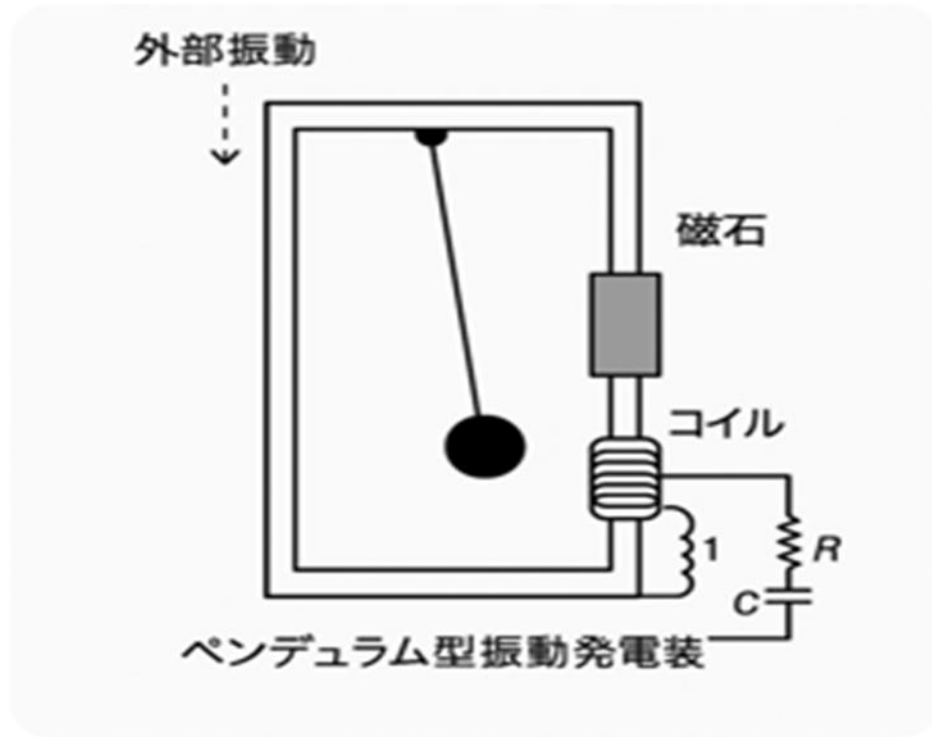
温度差発電実例



-B-

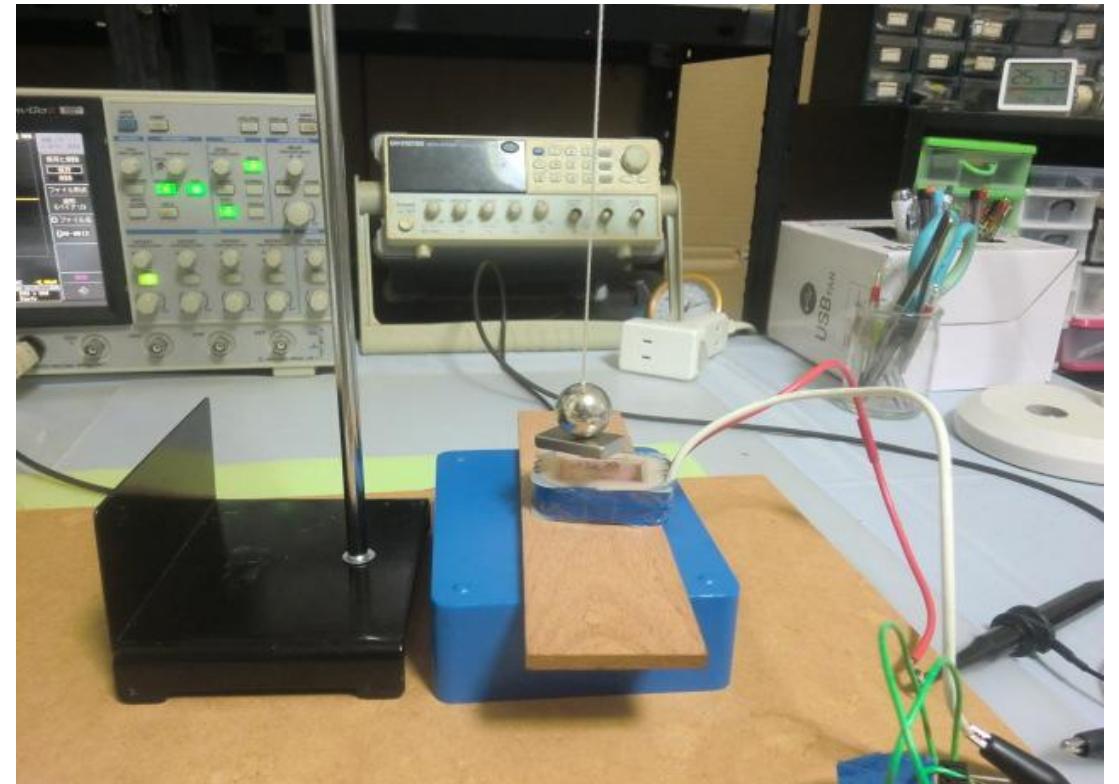
環境発電機一例2

振り子（ペンデュラム）型発電機



-A-

振り子発電実例



-B-

エネルギーのネットワーク

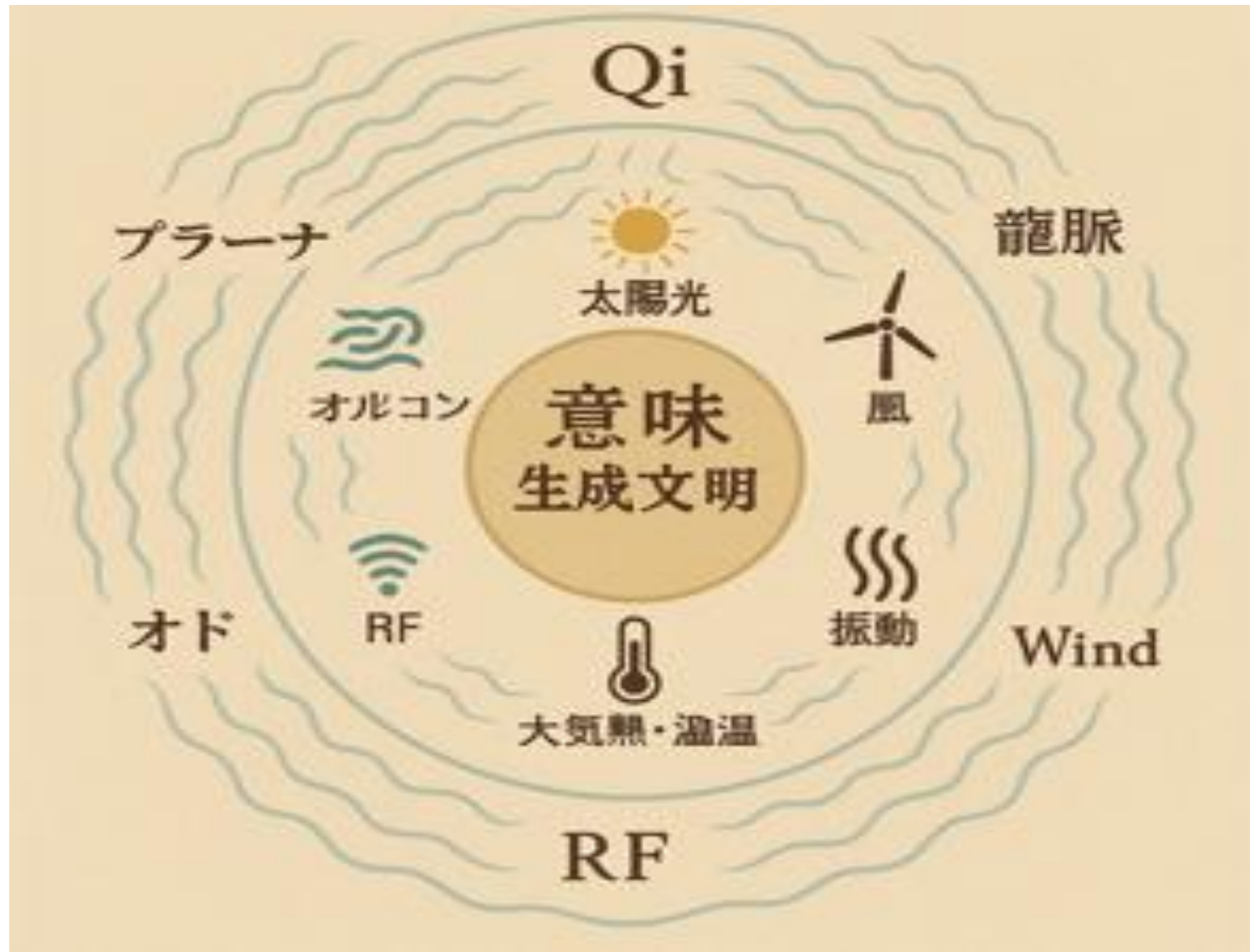


図13

[エネルギーハーベスト(EH)は日本古来からの文化と親和する!]



フリーエネルギー思想の変遷(へんせん)

人間が宇宙と共鳴し、
情報を通じて
エネルギーの
流れを最適化する
思想！



[無限の
エネルギー]



[アルゴリズムによる
最小エネルギー制御]



[意識と情報
の共鳴]

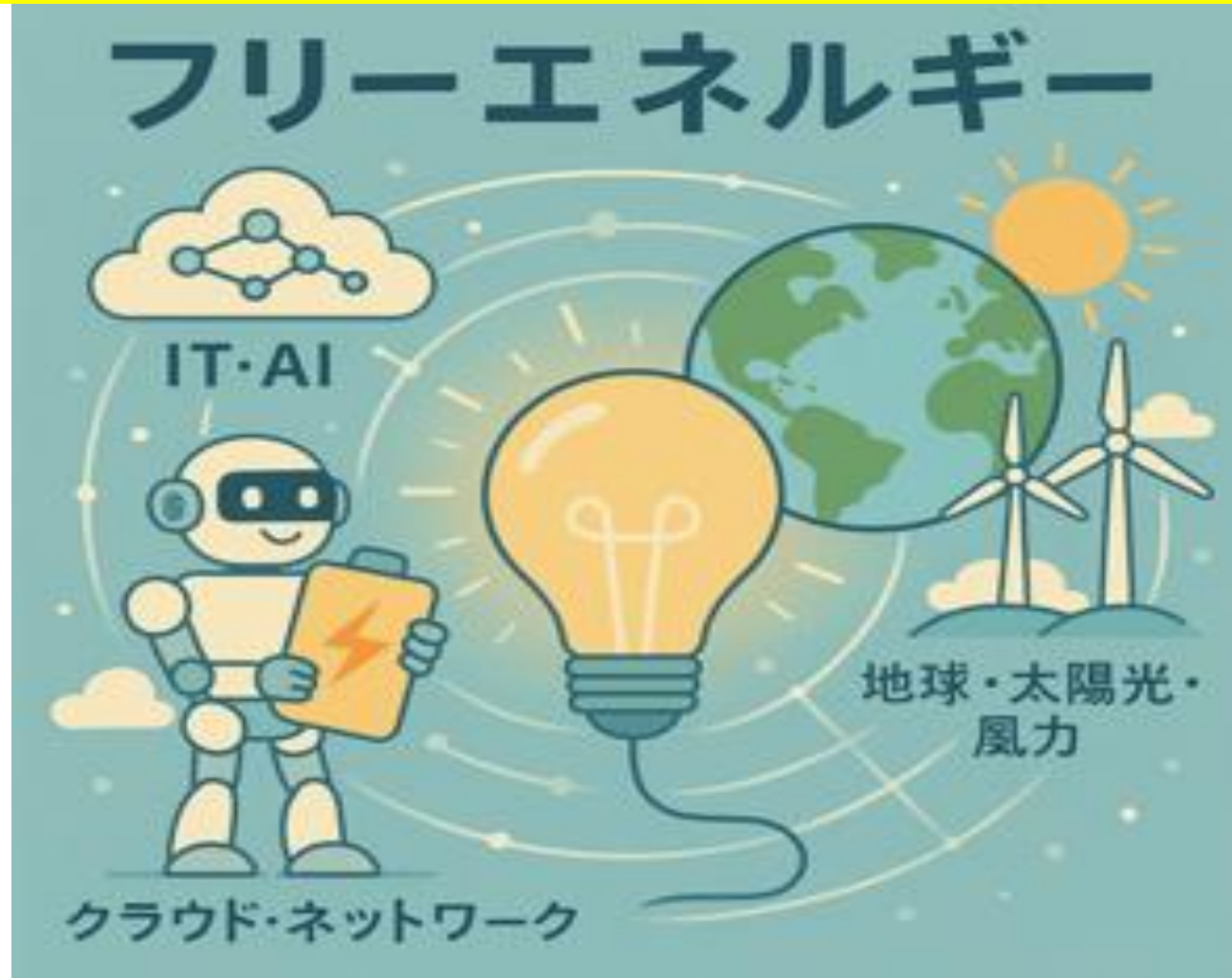
現在フリーエネルギー思想の変遷史



図16

一考察として、「現在のフリーエネルギー」

= IT/AI と共存した“環境発電”では！



実利主義的発想！

フリーエネルギー思想技術はどこで実現できる？ロールモデル。(AIとの会話)

- 現在の状況では
 - “オーストラリア”や“ニュージーランド”が最適！
 - 理由→フリーエネルギーを“技術×自立×自然×実利”で進める
 - モデルが正解！
- 日本型→夢想・原理主義→発展しない。
- アメリカ型→分裂・政治化→まとまらない。

個人研究者が活躍できる！

環境発電装置 開発コンセプト



-A-

図18

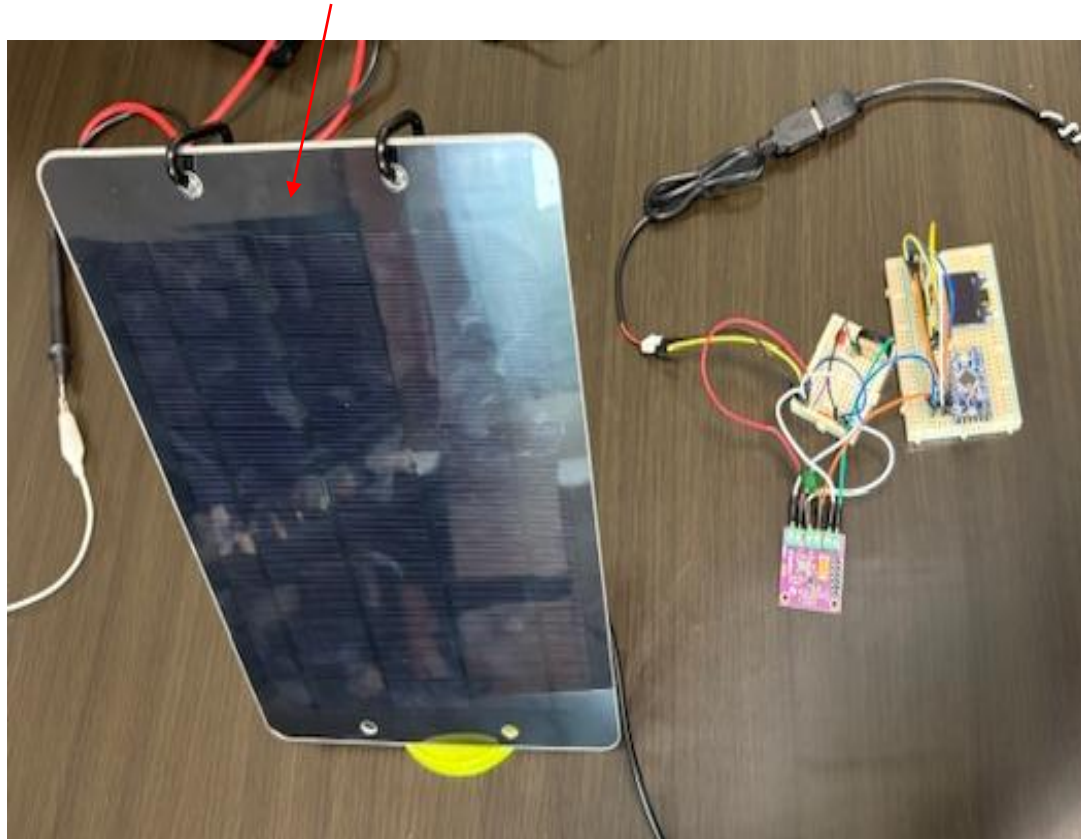
個人研究家のナラティブ



-B-

DCDCコンバーター-BQ25504、アルデーノプロミニ、温度湿度計
SHT31、OLEDモジュールによる昼間の室内光(500~1200lx)による温
度計測、湿度表示

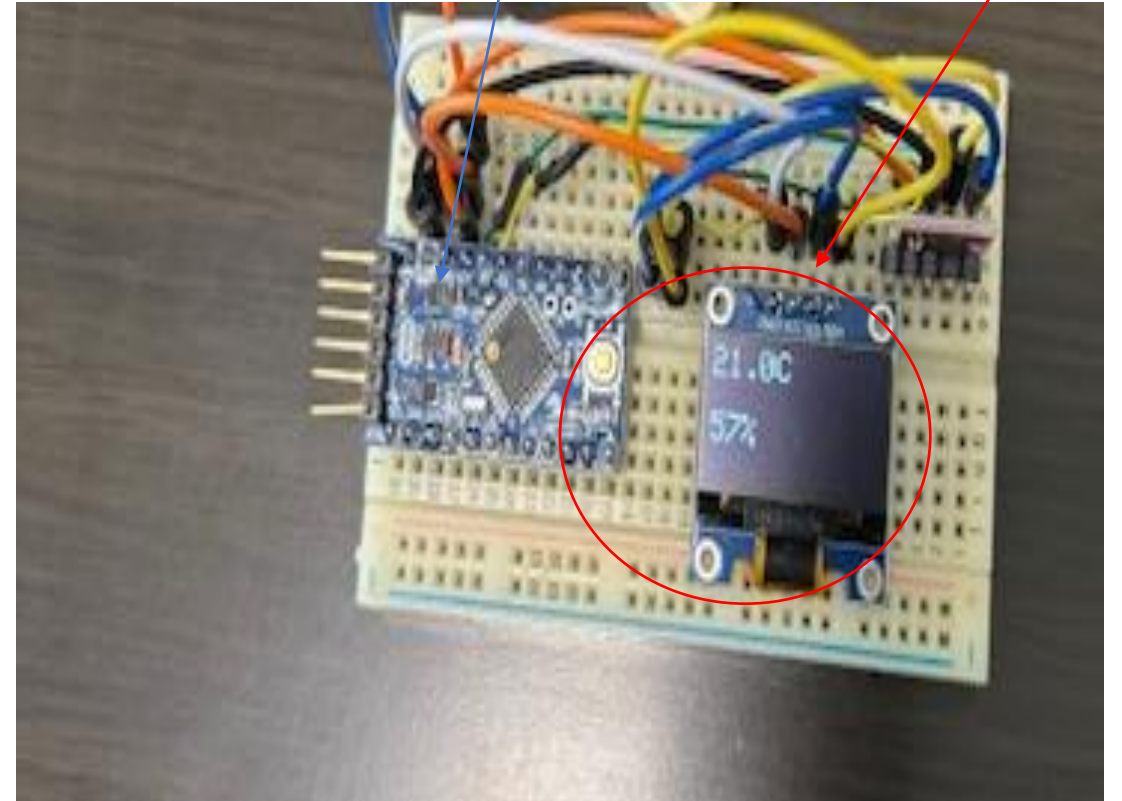
ソーラーパネル5V/6W



-A-

温度表示

アルデーノプロミニ3.3V **21.0 °C**
57%



-B-

室内光発電による温度計測の意味

- 電池を使わない3Vの境界で生きる装置
- 室内環境（光、磁気、微小エネルギー）から**少しずつエネルギーを集める。**
- エネルギーが3Vを超えた瞬間だけ、装置が生きる。
- 下回ると、静かに眠る。
- **常時稼働ではなく、エネルギーに合わせて生き方を変える。**

参考：研究会ロゴマーク

共鳴エネルギーに焦点



-A-

図20

ユビキタス発電



-B-

-B-25